

平成29年度	消防長		次長		課長		係長		主任		設計者	
--------	-----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	-----	--

事業名	平成29年度 防火水槽設置工事 2号(大砂)	(起工) 第 回変更
-----	------------------------	---------------

事業場所	石岡市大砂10381-8 地内
------	-----------------

設計 大 要	1 防火水槽内寸	施行方法	請負
	L5.0×W4.0×H2.0 (40m³)	施行期間	平成 年 月 日から
	2 オープンカット工法		平成30年 2月 28日まで
	3 RC造	請負人	
		保証人	

【工事設計書】 【石岡市消防本部 総務課】

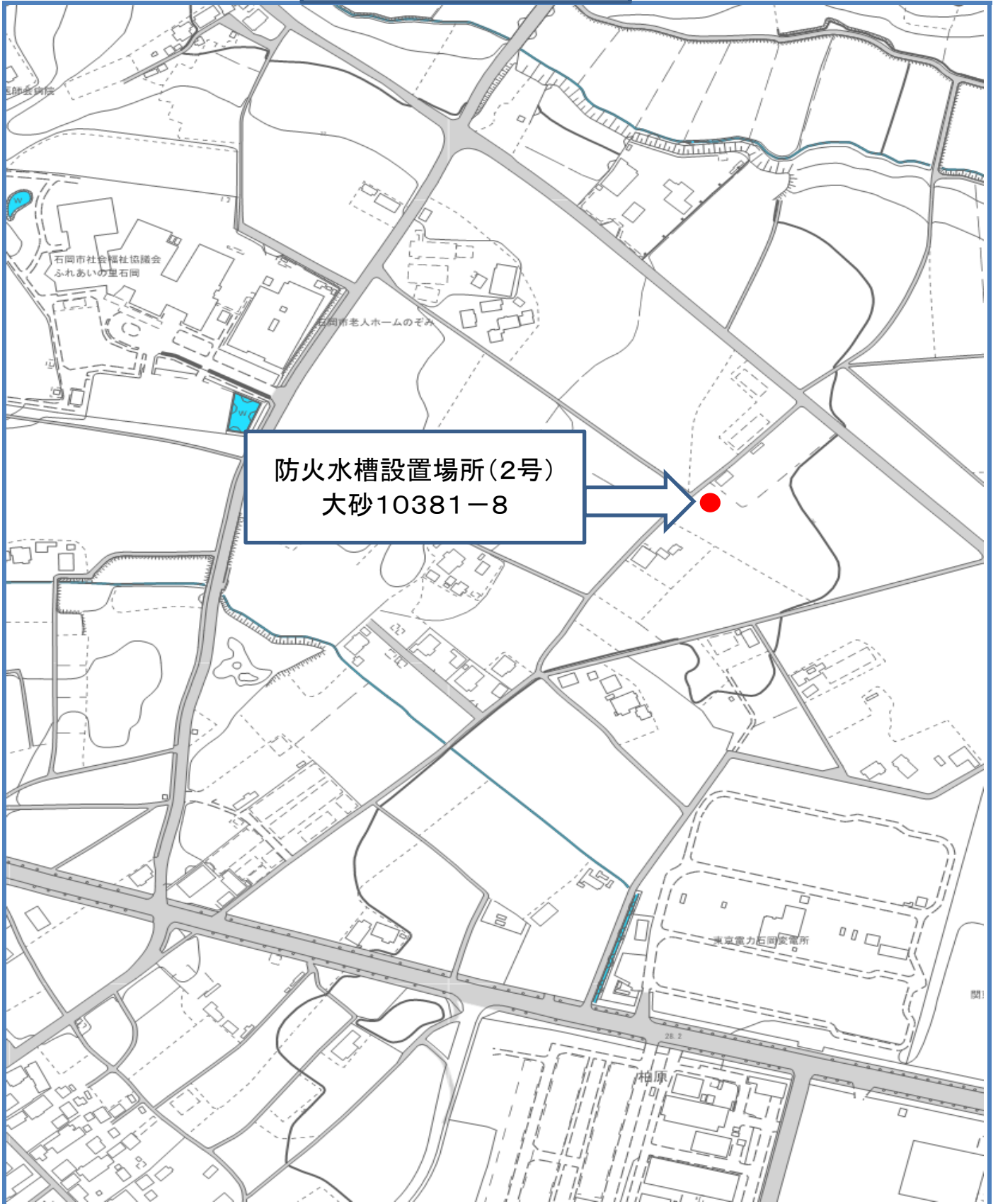
変更理由	
------	--

費目	起工	第一回変更	第二回変更	増△減
起工額				
請負いに負する額 又は請負額				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
消費税額				
請負決定額				

変更請負額算定基礎 $\text{変更請負額} = \text{変更請負に対する額} \times \text{請負比率} \left(\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に対する額}} \right)$

請負に対する額		×	請負比率		=	請負額

位置図



本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	平成29年度 防火水槽設置工事2号(大砂)						
	総括表						
A	直接工事費		1.0	式			
B	共通仮設費		1.0	式			
	純工事費						
C	現場管理費		1.0	式			
	工事原価						
D	一般管理費		1.0	式			
	工事価格						
	改め計						
	消費税相当額		1.0	式			
	請負付する額		1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土工事		1.0	式			
3	コンクリート工事		1.0	式			
4	鉄筋工事		1.0	式			
5	左官工事		1.0	式			
6	雑工事		1.0	式			
	直接工事費 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	水盛り遣り方		26.2	m ²			
	墨だし		26.2	m ²			
	外部足場損料	単管1本足場	69.5	架m ²			
	内部足場	脚立足場	20.0	m ²			
	養生費		20.0	m ²			
	清掃片付け		20.0	m ²			
	用水費		1.0	式			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	土工事						
	根切り	機械堀	120.9	m ³			
	埋め戻し	締固め共	56.8	m ³			
	残土処分	場外搬出	64.1	m ³			
	碎石地業	目潰し突き固め共	6.53	m ³			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	コンクリート工事						
	捨てコンクリート	FC=18N/mm ²	1.63	m ³			
	同上打設手間	ポンプ打ち	1.63	m ³			
	鉄筋コンクリート	FC=24N/mm ²	32.6	m ³			
	同上打設手間 耐圧盤	ブーム式ポンプ車	1.0	式			
	同上打設手間 一般	ブーム式ポンプ車	21.8	m ³			
	型枠	一般	73.2	m ²			
		打放し合板型枠	51.0	m ²			
	型枠運搬費		124.2	m ²			
	強度試験費		1.0	式			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	鉄筋工事						
	異形鉄筋D10	SD295A	0.022	t			
	異形鉄筋D13	SD295A	2.799	t			
	異形鉄筋D16	SD295A	0.564	t			
	鉄筋加工組立		3.375	t			
	運搬費		3.38	t			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	左官工事						
	底盤木ゴテ均し		25.8	m ²			
	床防水モルタル金ゴテ押エ		23.3	m ²			
	壁防水モルタル金ゴテ押エ		36.9	m ²			
	天端コンクリート金ゴテ押エ		26.2	m ²			
	マンホール蓋回りモルタル補修		0.5	m ²			
	マンホール回りモルタル補修		1.4	m ²			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	雑工事						
	防火水槽用マンホ-ル600φ	デザイン柵蓋	2.0	か所			
	防火水槽標識板	アルミ製600φ	1.0	か所			
	止水板		19.4	m			
	樹木伐採並びに抜根工事		1.0	式			
	砂利敷き	ア50	13.75	m ³			
	小計						

1. 工事概要

工事名	平成29年度 防火水槽設置工事 2号(大砂)
設置場所	茨城県石岡市大砂10381-8
工事主	住所 茨城県石岡市石岡1丁目1番地1 氏名 石岡市長 今泉 文彦

2. 特記事項

- | | |
|------|---|
| 一般事項 | 1 本工事は、1.現場説明書・見積書・資格証明書 2.特記事項・設計図書 3.建設大臣官庁官庁管理課部 監修建設工事共通仕様書 4.公共規格及びこれに準ずる規格に基づき施工を行うこと。 |
| | 2 設計図書の質疑は工事契約前に確かめ契約すること。 |
| | 3 契約・施工時・施工完了時の提出書類等及び、部数は石岡市の慣例に依るものとし監督員の承諾を得ること |
| | 4 本工事は使用する材料のうち係員の指示により、其の成績表を提出のこと。
又、係員認める試験所で試験を行い結果報告書提出すること。 |
| | 5 工事に先立ち工事工程表・工事協力業者名簿・メーカーリスト・設計図書・施工図・色調コンクリート配合計画書、使用材の見本品等を係員に提出し承認を得て工事に入る。地、使用承認いは、3部提出。 |
| | 6 工事写真は施工状況のわかるよう撮影すること。特に施工後 隠蔽されてしまうところ、かけになり又は高く見えにくいところ等は 入念に撮影しておくこと。 |
| | 7 工事着工前・工事完了後等、充分に説明の出来るよう撮影し、アルバム1部提出のこと。 |
| | 8 工事竣工図(変更箇所は赤記入の上)及び施工図等、承認関係図共、A4版製本、工事名称等を記入の上1部提出のこと。 |
| | 9 定例打合せ会議は週1回程度とする(係員と打合せの上)。 |
| | 10 工事中の労災等保険は請負業者の負担にて加入のこと。 |
| | 11 工事に際しては市道、道路側溝及び、近隣住民、通行者等に損傷を与えないよう注意し養生すること。損傷を与えた場合は、速やかに現状復帰するものとする。 |
| | 12 工事用水・電力等は利用できない。 |
| | 13 搬去物等 産業廃棄物の処分は、リサイクル法に基づいて官公庁にて認められたる産業廃棄物処理業者によるものとし、最終処理業者の処分経路を明確にし、係わる産業廃棄物業者の許可・認可の証明書提出。 |
| | 14 使用材料は指定メーカー等あるも、同等品以上とすることができる(係員の承諾を得ること。) |
| | 15 工事作業中は、安全に万全を期すこと。 |

仮設工事

1	仮囲いは設計図書によるも撤去後は現況に復旧すること。
2	堀及び設置場所周辺等に車輛等の車輪のあと等の損傷の出来ないよう養生のこと。損傷を与えた場合は、速やかに現況に復旧すること。

土工事

1	設計GL、BM及び設置位置は係員の承認を受けること。
2	掘り切りの土の置きは係員の指示による。
3	埋戻し部分は地盤の沈下の恐れのないよう、一層H=300mm程度毎に埋戻し均一に転圧しながら埋戻すこと。埋戻し土は良質の掘り切土とする。

鉄筋工事

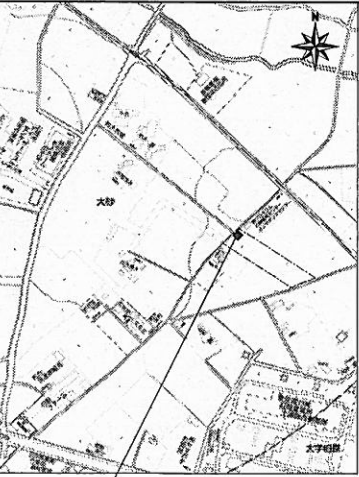
1	使用材料はSD295Aとし、組立後配筋検査を受け、承認後コンクリート打設とする。尚、3分は必ず提出のこと。
---	---

コンクリート工事

1	有筋コンクリートは、24N/mm ² 、無筋は18N/mm ² とする。尚、FMT-Bを採取し圧縮強度試験報告書提出のこと。
2	FMT-Bは、1週、4週、型枠取り外し決定用。その他必要に応じて各3個ずつ採取し、4週FMT-Bは公的機関(茨城県建設技術センター等)で行うこと。

3. 工事項目

防火水槽	容量: 5.0m ³ ×4.0m×H2.0 40m ² イブ 現場打ち 銅板使用の有無: オプション工法 水槽高さ: 図面参照(係員の承認をうけこと。) 防火水槽用バルブ: 600φ(石岡市指定) 2ヶ所 設置場所の確認等: 着工前に仮杭を打ち所有者に確認してもらう 規模: 1ヶ所設置
その他	設計図通りに完成する為に、必要な作業は指示・明示のない場合でも、請負工事範囲にて完成させること。また、請負金額の増減は認めない。



案内図

既存植栽処理等

名称	高さ	直径	伐採・抜根	伐採	合計
スギ	15,000	200	9	2	11
スギ	20,000	300	8	2	10
スギ	20,000	400	—	1	1
スギ	25,000	500	2	1	3
スギ	25,000	600	—	4	4
スギ	25,000	700	1	—	1
合計			20	10	30

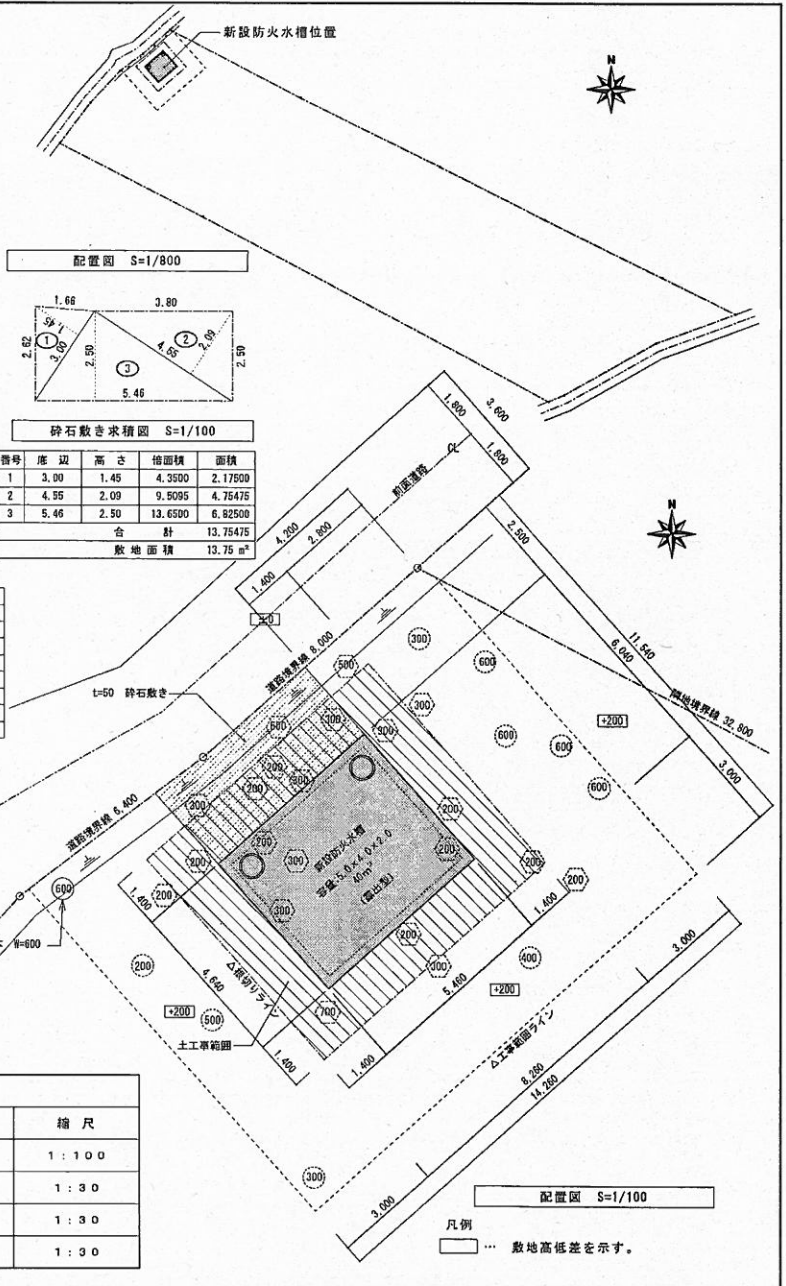
凡例

(Φ) ... 伐採・抜根を示す。数字は直径を示す。
(○) ... 伐採を示す。数字は直径を示す。
伐採・抜根後に撤去・処分すること。

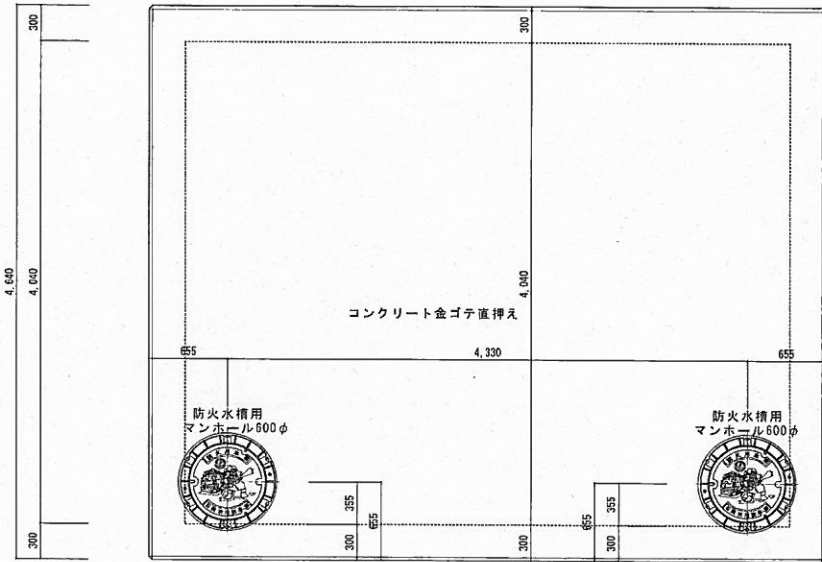
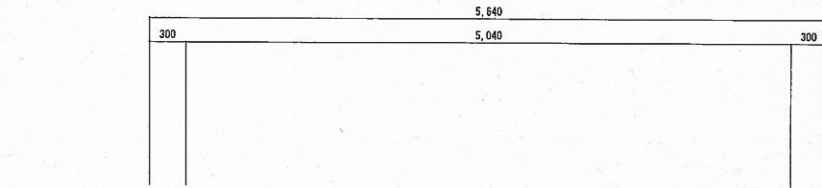


図面リスト

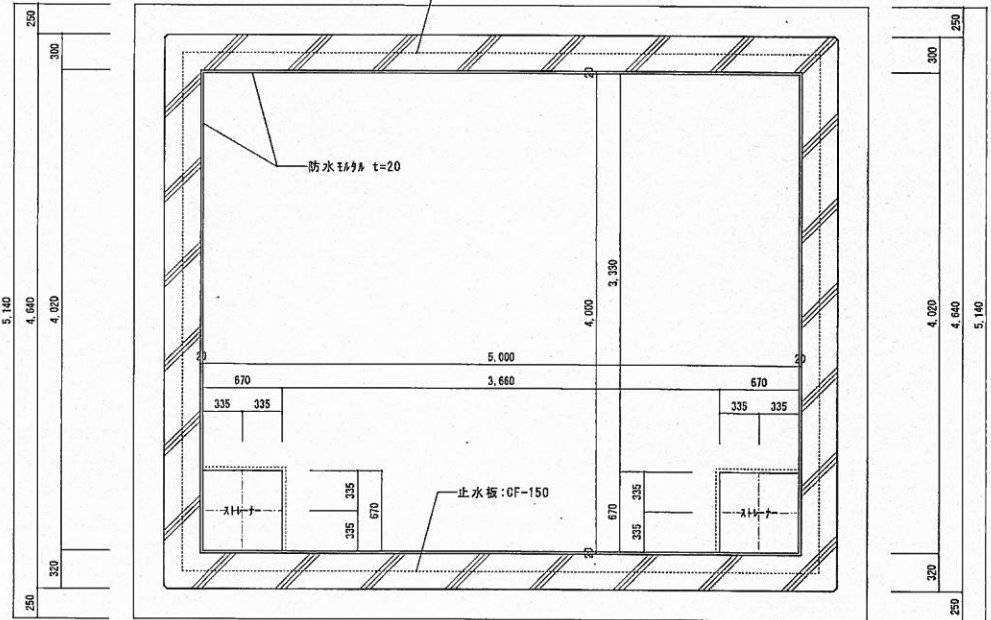
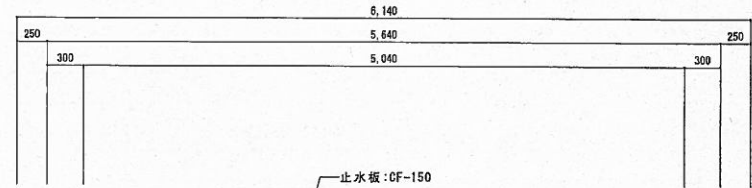
符号	図面名	縮尺
2-0-1	工事概要 配置図 案内図	1:100
2-0-2	上版平面図・産版平面図	1:30
2-0-3	断面図	1:30
2-0-4	構造図	1:30



縮尺	S=1:100
設計年月日	
工事名称	平成29年度 防火水槽設置工事 2号(大砂)
図面名称	工事概要 配置図 案内図




上版平面図 S=1/30



底版平面図 S=1/30

容量	40 m ³
内寸法	5.0×4.0×H2.0
地盤面高/基準	GL +600
備考	

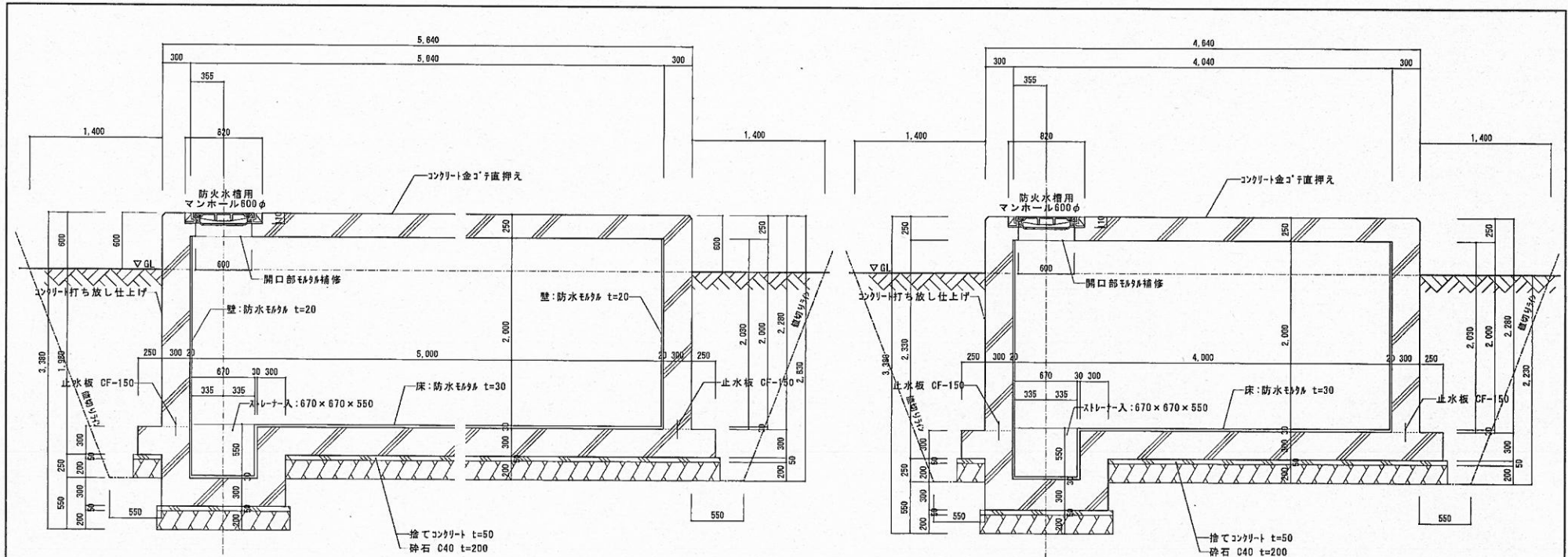

 一般建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所
 茨城県 第A2210号 (2806)
 建設大臣登録第210340号
 一般建築士 久保田 吉文

設計 担当 監図


縮尺
 S = 1 : 30
 設計年月日

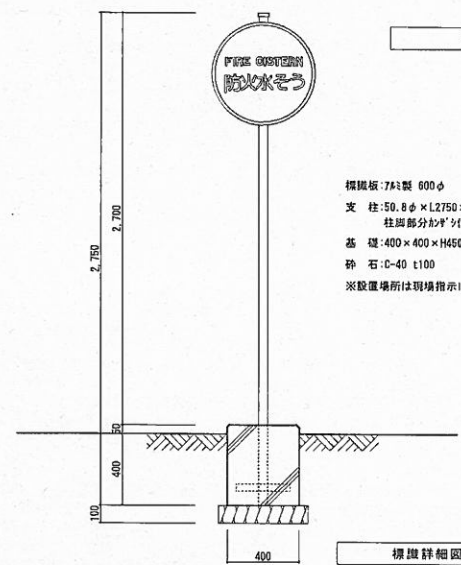
工事名称 平成29年度 防火水槽設置工事 2号(大砂)
 図面名称 上版平面図・底版平面図

2 - 0 2
 NO.

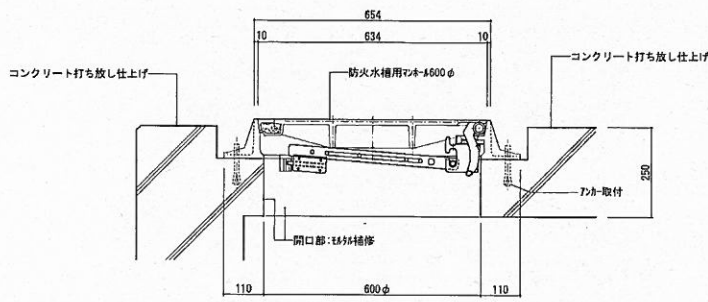


断面図 S=1/30

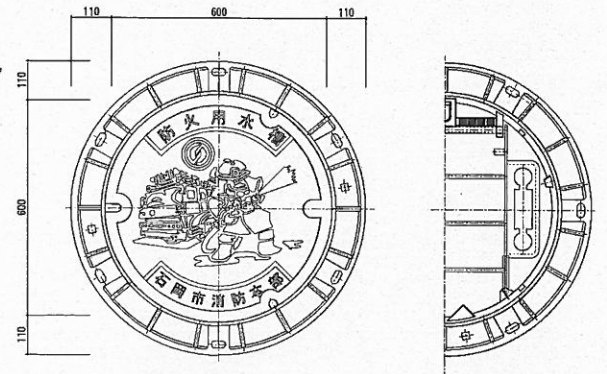
断面図 S=1/30



標識詳細図 S=1/20

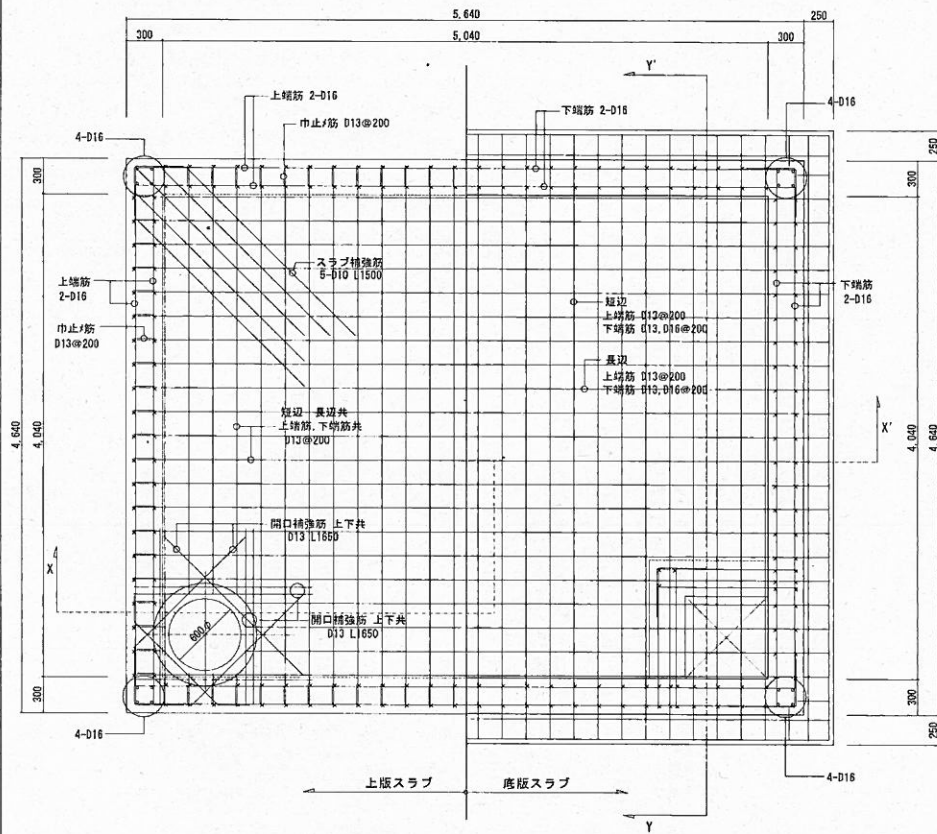


防火水槽用マンホール詳細図 S=1/10

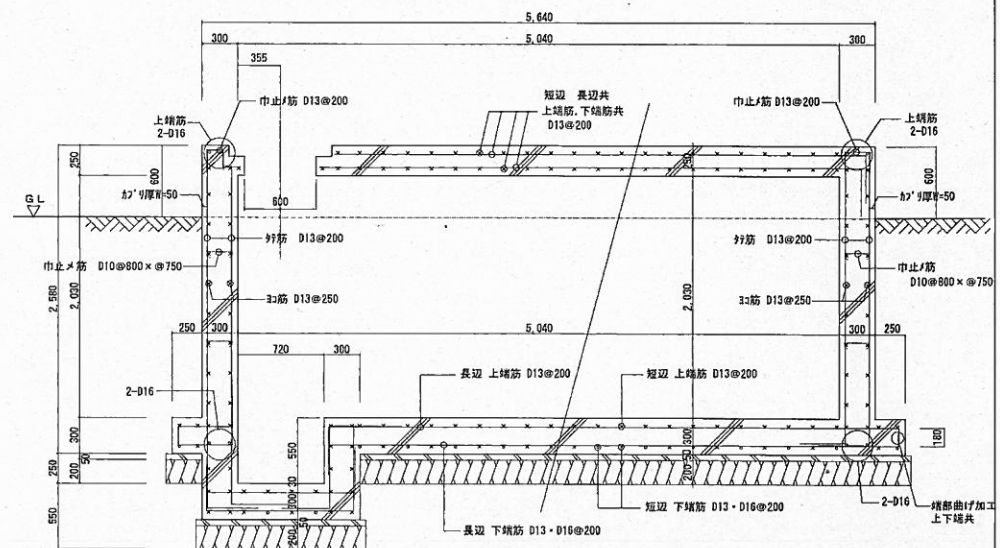


鋼製防火水槽用マンホールφ600φ
SUS梯子付 7#φ付蓋
材質: DINRH-60-G1 T25
同等品以上

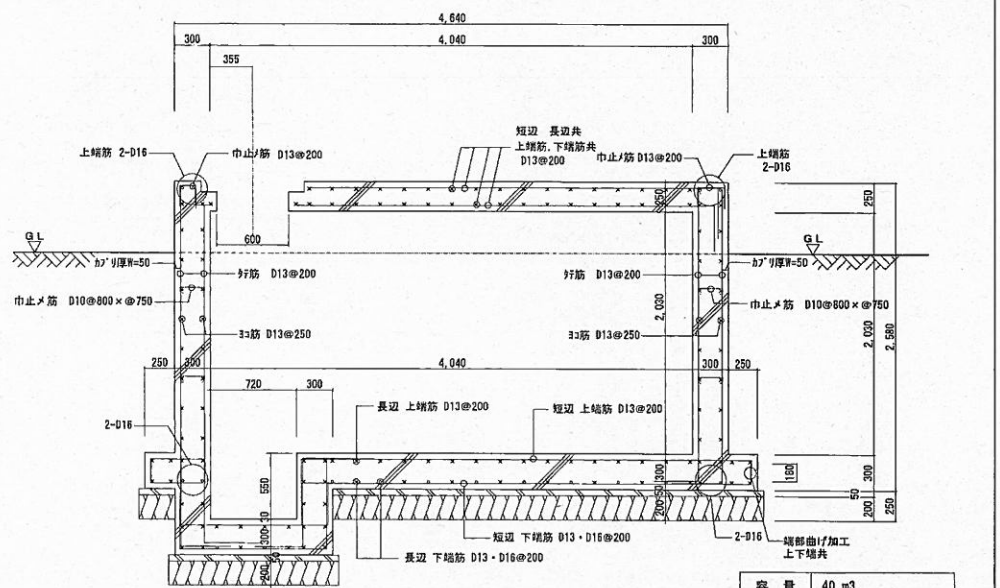
容量	40 m ³
内寸法	5.0 x 4.0 x H2.0
地盤面/高	GL +600
備考	



上版・底版スラブ配筋図 1:30



X-X' 断面詳細図 1:30




Y-Y' 断面詳細図 1:30

容量	40 m ³
内寸法	5.0 × 4.0 × H2.0
地盤面/高	GL +600
備考	

特記事項		
1.	普通コンクリート	FC 24 N/mm ² (免圧強度はFC 27 N/mm ² とする)
2.	捨てコンクリート	FC 18 N/mm ²
3.	鉄筋	D10~D16 S9255A 量り継手
4.	許容地耐力	1fe = 50kN/m ² (D-4層と推定) 但し地盤工事において、地耐力の確認(目録)をすること。地耐力が確保できない場合は基礎形状形式の変更もあろう。

配筋リスト		
上版スラブ (t=250mm)	短辺	上端 D13 @200 下端 D13 @200
	長辺	上端 D13 @200 下端 D13 @200
底版スラブ (t=300mm)	短辺	上端 D13 @200 下端 D13・D16 @200 交互
	長辺	上端 D13 @200 下端 D13・D16 @200 交互
壁 (t=300mm)	9筋	外部 D13 @200 内部 D13 @200
	3筋	外部 D13 @250 内部 D13 @250


 一般建築士事務所
 茨城県 第A2210号 (2005)
 建設大臣登録第210340号
 (有)クボタ建築設計事務所
 一般建築士 久保田 吉文

設計担当製図




縮尺
 S = 1 : 30
 設計年月日

工事名称 平成29年度 防水水槽設置工事 2号(大砂)
 図面名称 構造図